

【兵庫県】地域医療介護総合確保基金活用による再編・統合事例

令和元年7月開院
兵庫県立丹波医療センター

令和元年11月6日
兵庫県健康福祉部健康局
兵庫県病院局



丹波の名産：丹波栗

1. 丹波圏域の現状と課題

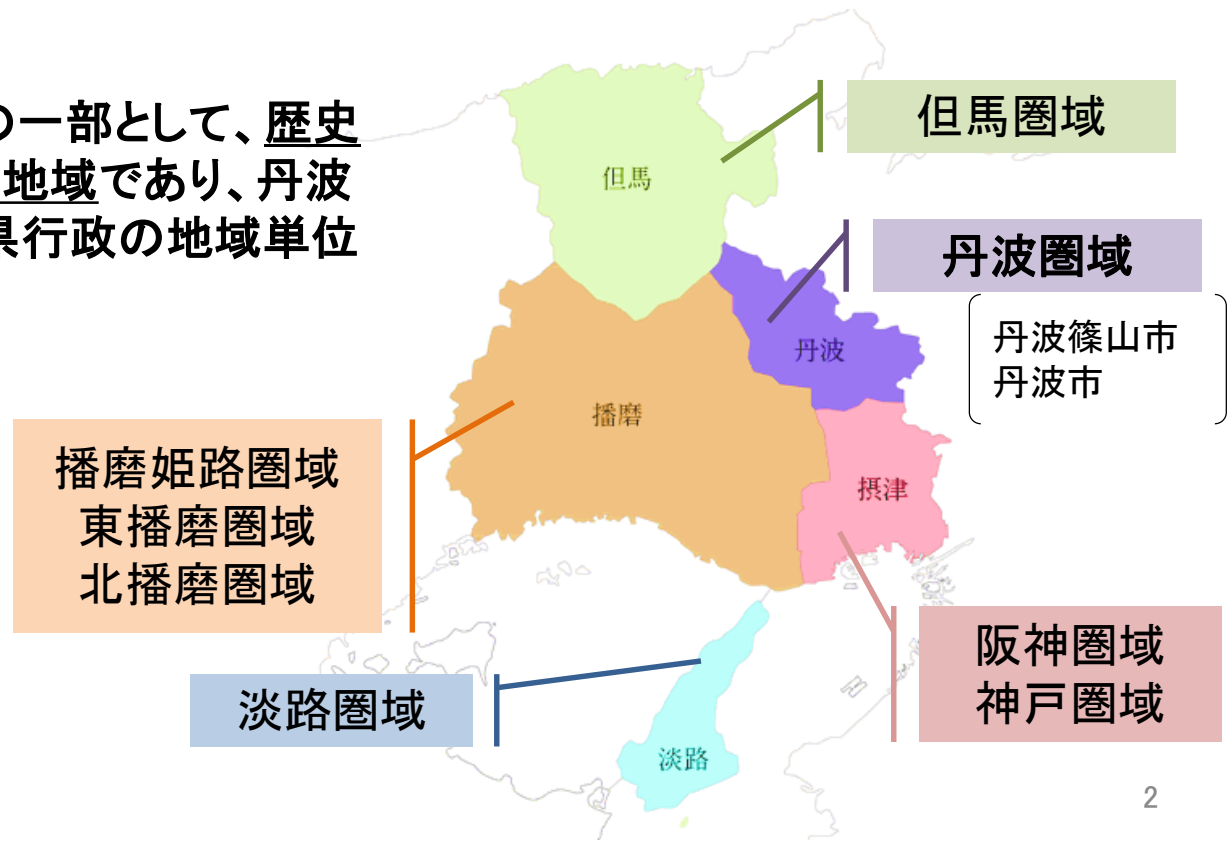
2. 県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編について

兵庫県・丹波圏域

兵庫県の中東部に位置し、丹波篠山市(377.59km²—県土の4.5%)と丹波市(493.21km²—県土の5.9%)の2市からなり、兵庫県総面積の10.4%を占めている。

山林が総面積の75.0%を占める農山村地帯であるが、隣接する阪神都市圏とは舞鶴若狭自動車道、JR福知山線の交通網によって結ばれており、神戸・大阪からは約1時間圏内にある。

旧律令国である丹波国の一部として、歴史的文化的にまとまりのある地域であり、丹波県民局の管轄区域として県行政の地域単位となっている。



人口(万人)・高齢化率(%)・医師数(10万人あたり)

2018年2月1日現在・2016年末現在

但馬
16.5
35.2
213.7

西播磨
25.4
32.2
163.5

中播磨
57.5
26.7
212.1

東播磨
71.5
26.9
202.3

淡路
13.1
36.3
225.4

北播磨
26.9
31.1
224.7

丹波
10.4
34.1
194.1

神戸
153.1
27.6
321.9

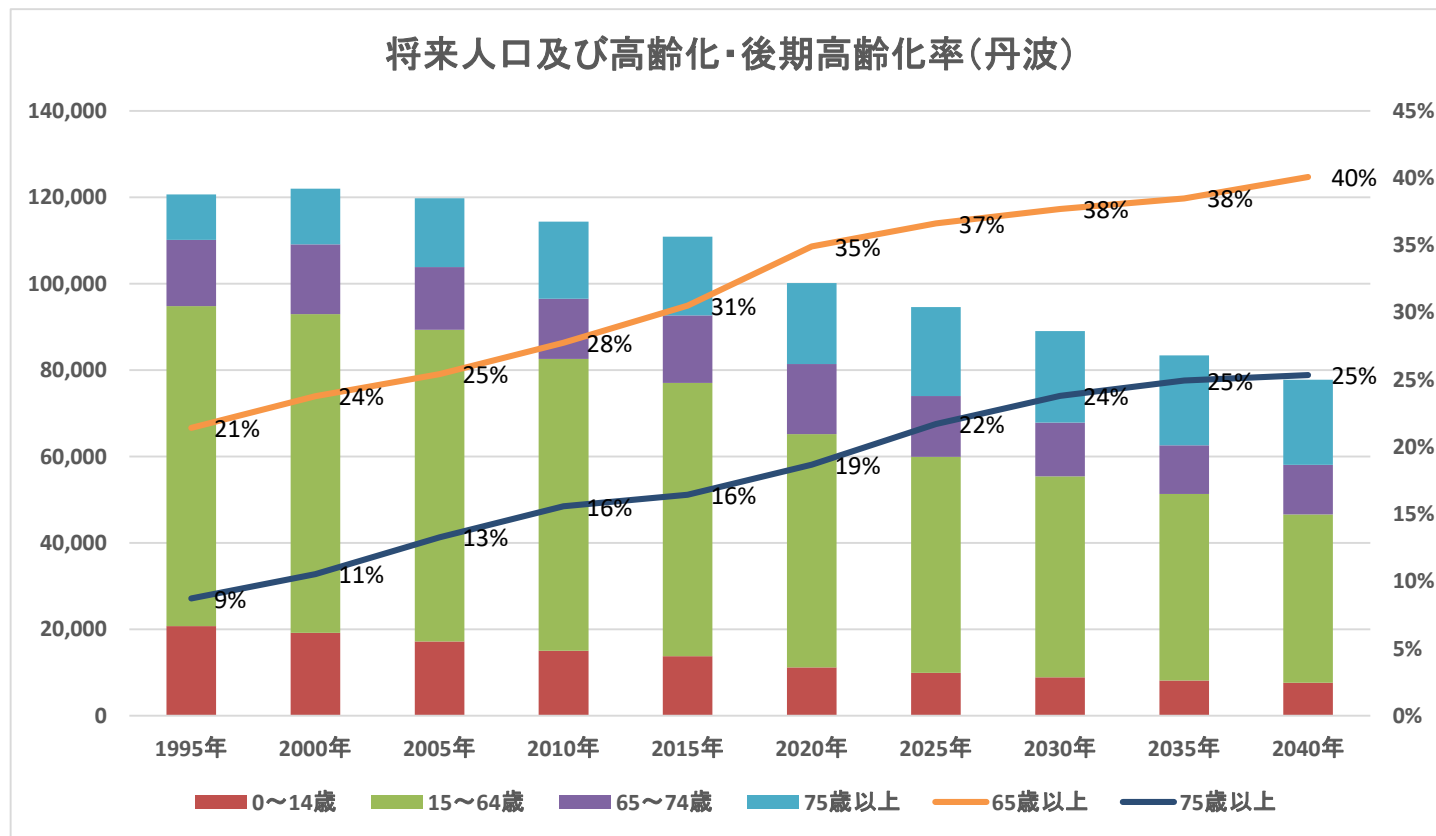
全県
人口:549.7万人
高齢化率28.0%
医師数:253.2(10万人あたり)

阪神北
72.0
27.2
194.5

阪神南
103.4
25.8
296.2

丹波圏域の人口推移

H27総務省住民基本台帳ベースに推計(厚労省)



平成27年:人口11万人、高齢化率30.5%



令和7年(2025年)には、人口10万人を切り、2040年には高齢化率40%超

人口10万人あたり医療従事者数

職種	丹波圏域	全県	比較
医師	194.1	253.2	▲59.1
歯科医師	53.3	70.8	▲17.5
薬剤師	209.3	264.8	▲55.5
看護師	830.4	922.8	▲92.4
助産師	21.0	30.4	▲9.4

H28.12.31時点「医師・歯科医師・薬剤師調査」「兵庫県看護師等従事者届出集計」より

※将来時点(2036年)における必要医師数は、供給推計(上位)と比較しても20人不足

H31.3.29開催「医師需給分科会・第4次中間とりとめ」資料より

一般病床の入院受療動向

- ・病床利用率 63.8%（県全域74.7%） ※1
- ・平均在院日数 15.0日（県全域15.5日） ※1

- ・一般病床入院 圏域内充足率 70.3% ※2
（主な流出先：北播磨13.4%・阪神9.4%）

他圏域へ流出

- ・救急入院 圏域内充足率 69.7% ※2
（主な流出先：北播磨20.0%）

救急対応の不足

- ・回復期リハビリテーション入院 圏域内充足率 52.6% ※2
（主な流出先：北播磨30.6%）

回復期病床の不足

※1 厚生労働省「病院報告」より

※2 厚生労働省「H29 医療計画作成支援データブック」より

地域医療構想実現に向けた病床機能

2017年の病床機能報告と将来の病床数の必要量(2025年)推計

病床機能	2017(平成29)年 病床機能報告	2025(令和7)年 必要病床数
高度急性期	4	52
急性期	557	236
回復期	84	204
慢性期	434	339
合計	1, 079	831

居宅等における医療需要の現状と推計

	2013(平成25)年	2025(令和7)年
総数 (自然増＋新たに対応が必要な部分)	1, 063. 3	1, 402. 0

居宅等の需要の増加が見込まれている

1. 丹波圏域の現状と課題

2. 県立柏原病院と柏原赤十字 病院の統合再編について

丹波医療圏の概要

県立柏原病院
303床(稼働184床;
急性期164、緩和20)



柏原赤十字病院
99床(急性期72、地ケア23、感染4)

香良病院
266床(精神)

大塚病院385床
(一般60床、療養325)

福知山市民病院(354床)

兵庫医大
ささやま医療センター
180床(急性期136、療養44)

京都府

丹波市

岡本病院186床
(一般94床、療養92)

山鳥病院31床
(療養)

にしき記念病院
48床(一般)

丹波篠山市

西脇市民病院(320床)

三田市民病院(300床)

※圏域外に流出

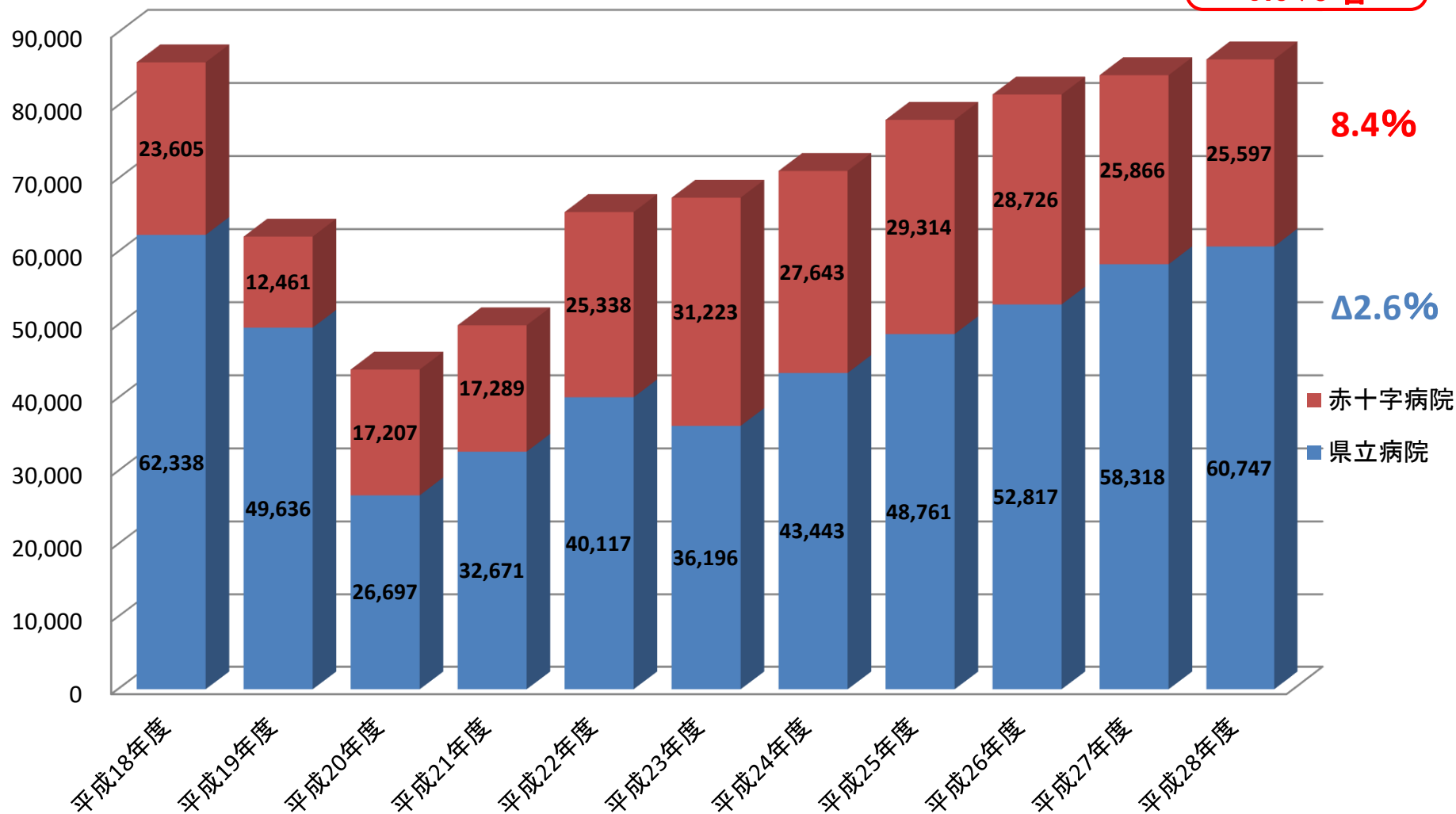
両病院の概要

	県立柏原病院		柏原赤十字病院	
開 設	昭和28年		昭和10年	
診療科	18診療科		13診療科(うち2科休診)	
許可病床数	303床		99床(H26:167床)	
	平成20年度	平成30年度	平成20年度	平成30年度
稼働病床数	146床	184床	59床	59床
入院患者数	26,697人	58,535人	17,207人	16,114人
病床利用率	50.1%	87.2%	80.5%	74.8%
外来患者数	57,142人	90,930人	38,064人	22,602人
経常損益	△1,558百万円	△200百万円	△309百万円	(※)△216百万
(一般会計繰入金)	(518百万円)	(864百万円)		
医師数	20人	35人	5人	5人

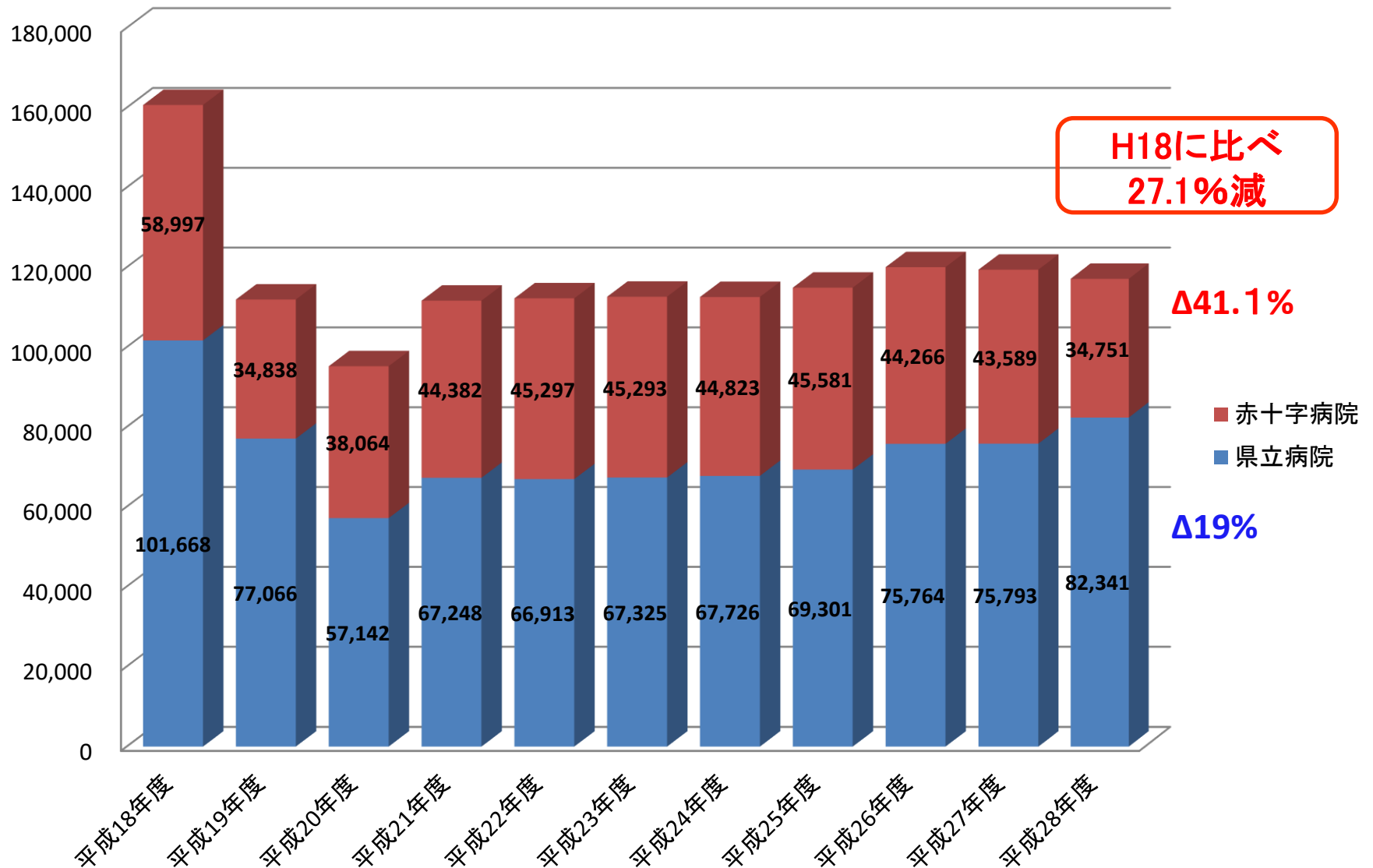
※閉院(H30)による精算が含まれるためH29の数値を記載

両病院の延入院患者数の推移

H18に比べ
0.5%増



両病院の外来患者数の推移



丹波圏域・両病院の課題（H27.2統合再編基本計画から）

◇急性期から回復期までの幅広い医療の提供

- ・ 地域住民の高齢化により、将来、急性期のみでなく回復期の患者の増加が見込まれるが、柏原赤十字病院の医療機能では十分な対応が困難。
- ・ 人口・患者規模が小さいため急性期患者に対応するだけでは、県立柏原病院が安定した経営を行うことや若手医師が経験すべき症例数を確保することは難しい。
- ・ 今後の高齢化や地域のニーズに対応するため、また、病院経営・人材育成の面からも、急性期から回復期までの幅広い医療を提供する必要がある。

◇地域包括ケアシステムの構築

- ・ 高齢化の進展に伴い在宅療養支援体制の充実、リハビリテーション体制の整備、予防医療まで総合的なサービスを一体的に提案する等、地域包括ケアシステムの構築を図る必要が生じている。

◇救急拠点施設としての医療機能の充実

- ・ 圏域外搬送が多いことから、救急拠点施設としての医療機能をより充実・強化する必要がある。

◇地域医療にかかる人材育成環境の整備

- ・ 若手医師を育成するための十分な指導医が確保できておらず、教育のための施設・設備も十分とは言えない状況にある。

県立柏原病院、柏原赤十字病院統合再編整備事業

事業概要

1. 事業目的

基金を活用し、公立病院再編ネットワーク化により、急性期から回復期までの幅広い医療が提供できる統合新病院を整備

- ・新病院に隣接して、一次診療、健診、在宅医療を担う市健康センターを整備し、保健、福祉と連携した地域包括ケアシステムの構築
- ・救急拠点施設としての医療の提供
- ・地域医療にかかる人材(若手医師)の育成

2. 診療機能等

病床規模: 320床 診療科: 27科

3. 施設計画

敷地: 約54,000m²

建物: 鉄骨造地上7階・延床面積 約26,400m²(免震構造、屋上ヘリポート)

4. 総事業費

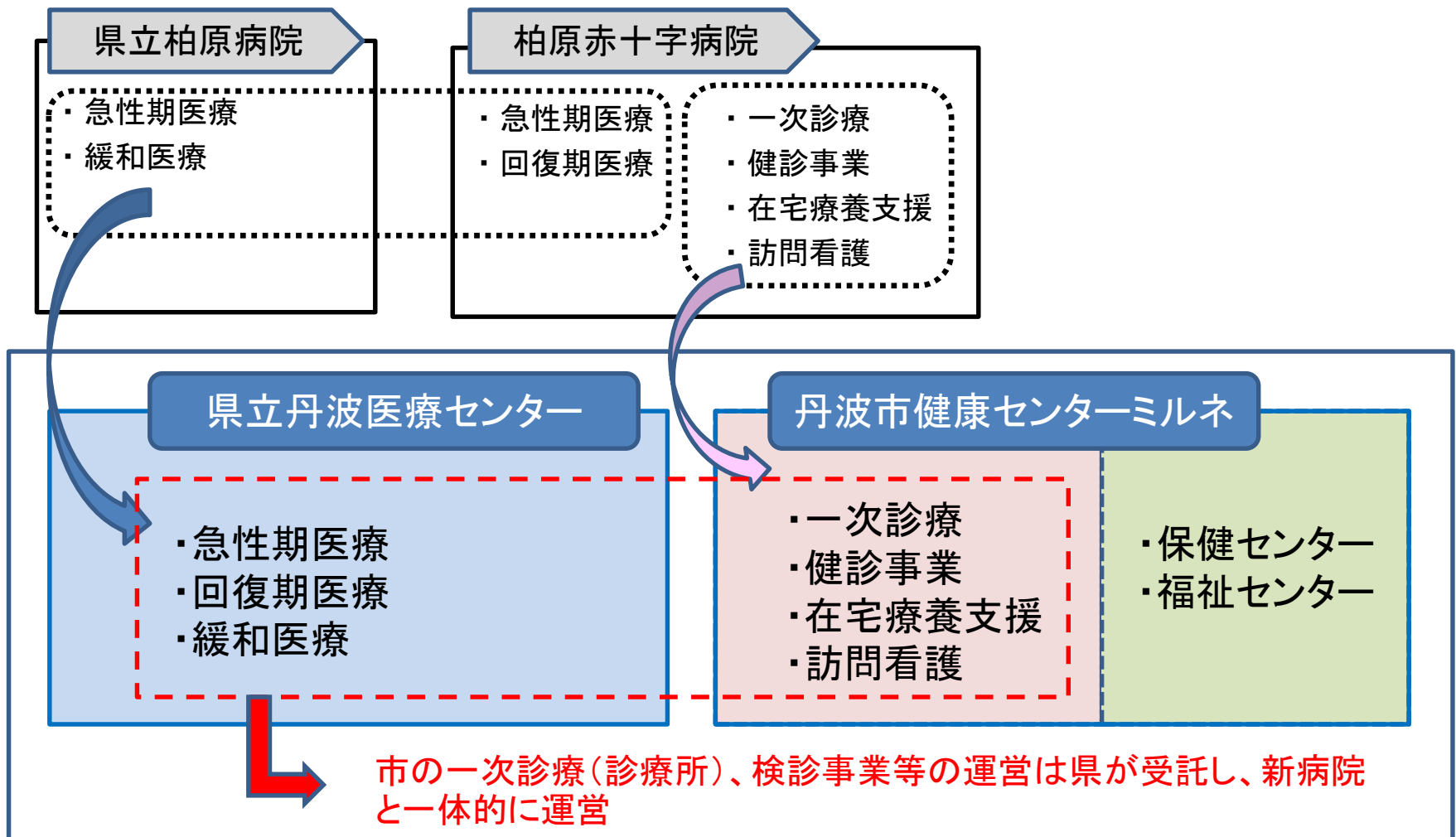
約181億円
(うち基金 約29億円)

【予算推移】

- ・H26年度: 1,551,350千円(うち基金 10,000千円)
- ・H27年度: 254,332千円(基金活用なし)
- ・H28年度: 168,714千円(うち基金 148,885千円)
- ・H29年度: 3,010,235千円(うち基金1,479,329千円)
- ・H30年度: 9,215,258千円(うち基金1,240,136千円)
- ・H31年度: 3,873,791千円(基金活用なし)

取組みの特徴

- ・新病院は、両院が持っていた急性期に加え、日赤の回復期の機能を継承
- ・日赤の一次診療、健診事業等の機能は、市健康センターが引継ぎ、そのうえで運営を県が受託し、新病院と一体運営することで健康・福祉領域との連携強化。



統合決定から開院まで

- H24.2 丹波市域の今後の医療体制のあり方に関する検討会(計4回)
- H26.9 「兵庫県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編基本方針」策定
- H27.2 「統合再編基本計画」を策定
「丹波市・地域医療・総合支援センター整備基本計画」策定(丹波市)
⇒ 柏原赤十字病院が行っていた診療所機能、予防医療(健診)機能、在宅療養・介護支援機能を市健康センターミルネに引き継ぐこととし、県が一体整備
- H27.12 「基本設計」に着手
- H29.5 着工
- H31.3 竣工
- H31.4 ミルネ訪問看護ステーションの業務を開始(先行)
- R元.7 県立丹波医療センター開院、丹波市健康センターミルネ開設

県立丹波医療センター

丹波市健康センターミルネ

丹波市立看護専門学校



丹波医療センターの基本理念・基本方針

【基本理念】

地域医療の中核病院として良質で安全な医療を提供し、地域住民の健康に貢献します。

【基本方針】

- 1 世界標準の医療を提供します。
- 2 急性期から回復期、終末期までの幅広い医療を提供します。
- 3 救急と災害医療の拠点病院として医療を提供します。
- 4 多職種が協働して、信頼される患者中心の医療を提供します。
- 5 地域の医療機関や丹波市健康センターと連携し、最良の地域医療システムを構築します。
- 6 教え学びを病院の文化とし、地域医療に貢献できる医療人を育成します。

丹波医療センターの診療機能

【基本的な機能】

- ① 地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟及び回復期リハビリテーション病棟を設置し、急性期から回復期までの幅広い医療を提供
- ② 脳卒中や心筋梗塞等の重症救急患者への対応
- ③ 災害時における医療の確保
- ④ 地域医療に関わる人材の育成

【診療科目(27科)】(下線は新設科目)

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、緩和ケア内科、小児科、放射線科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科

丹波医療センターの病床数

病床区分		病床数		病室種別
一般病床	急性期病床	204	(167)	4床室33室、2床室2室、個室58室 観察室4室、集中治療系(HCU6床)
	地域包括ケア病床	45	(45)	4床室9室、個室7室、観察室2室
	回復期リハ病床	45	(0)	4床室9室、個室7室、観察室2室
	緩和ケア病床	22	(22)	個室22室
感染症病床		4	(4)	個室4室
計		320	(238)	

※()は開院時の病床数

県立丹波医療センター

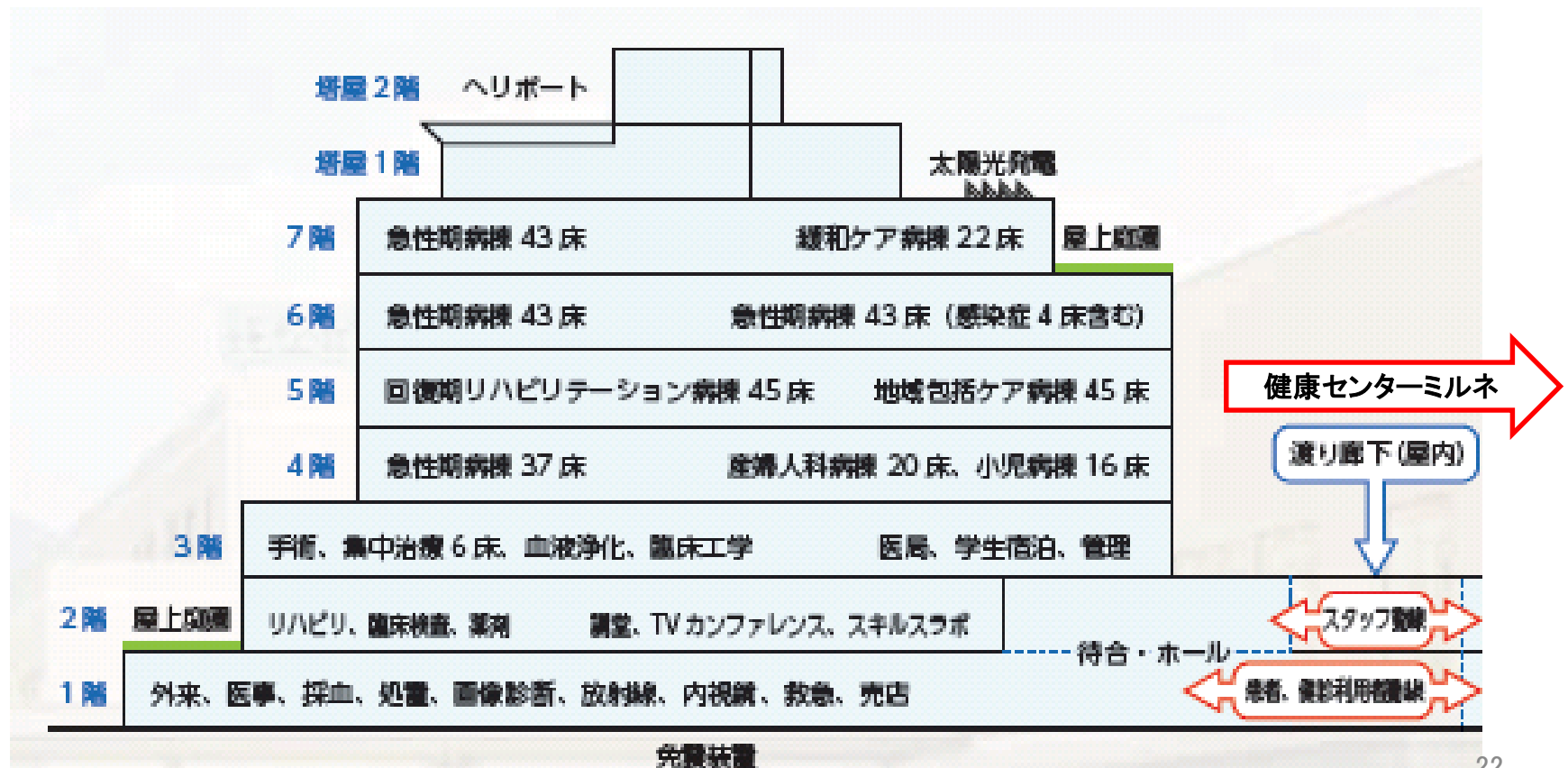
丹波市健康センターミルネ



丹波医療センターの配置図

鉄骨造(免震構造) 地上7階・塔屋2階

延床面積26,321.04 m²(敷地面積54,055.29 m² ※隣接する丹波市関連施設含む)



丹波市健康センターミルネ

【基本方針】

地域包括ケアシステムの中核的な役割や地域医療を担う人材の育成など、県立丹波医療センターと連携して保健、医療、福祉、介護を担う施設。

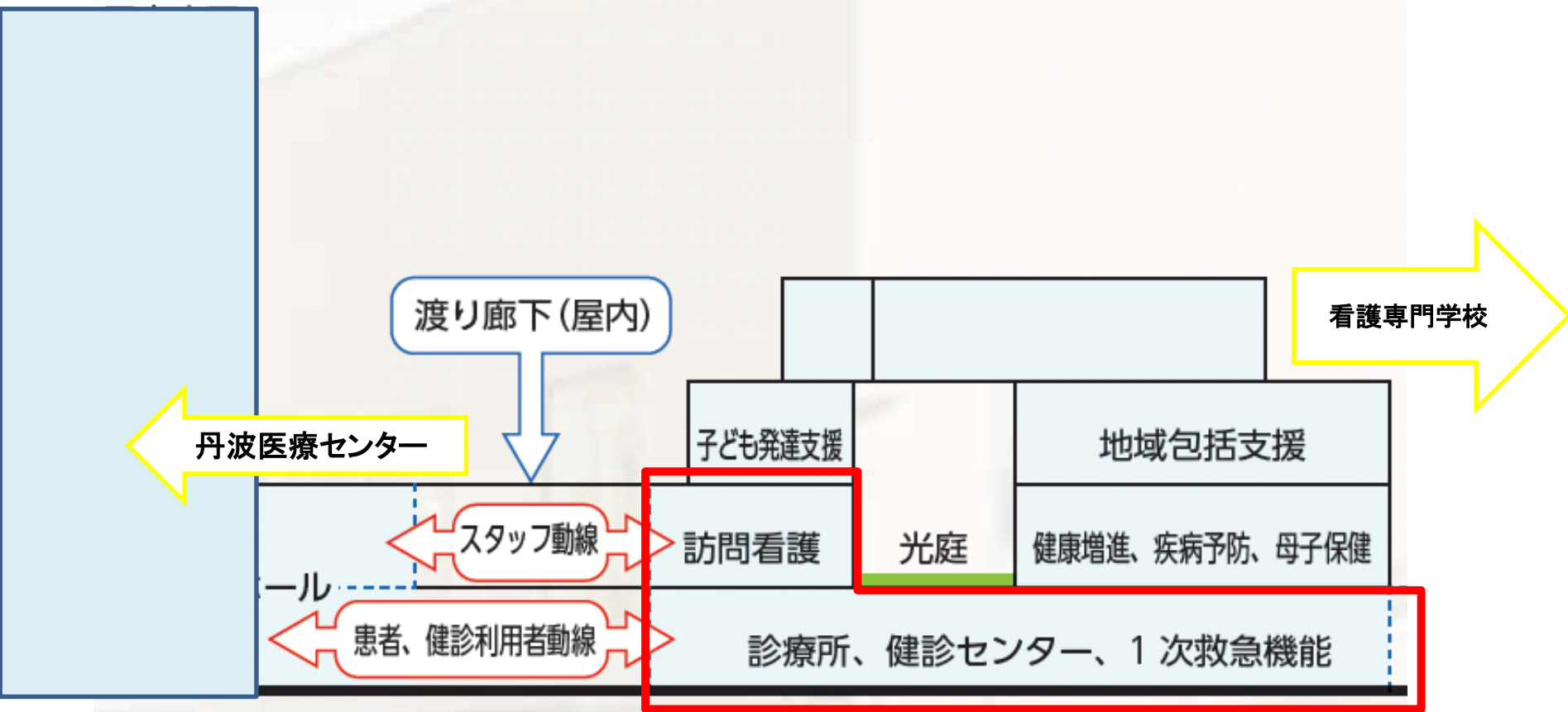
【施設の機能】

- 1階 診療所、健診センター、休日応急診療所
- 2階 保健センター（健康増進、疾病予防、母子保健）、
訪問看護ステーション
- 3階 基幹型地域包括支援センター、こども発達支援センター

丹波市健康センターミルネ

【構造・規模】

鉄骨造地上3階・塔屋1階 延床面積5,282.61 m²

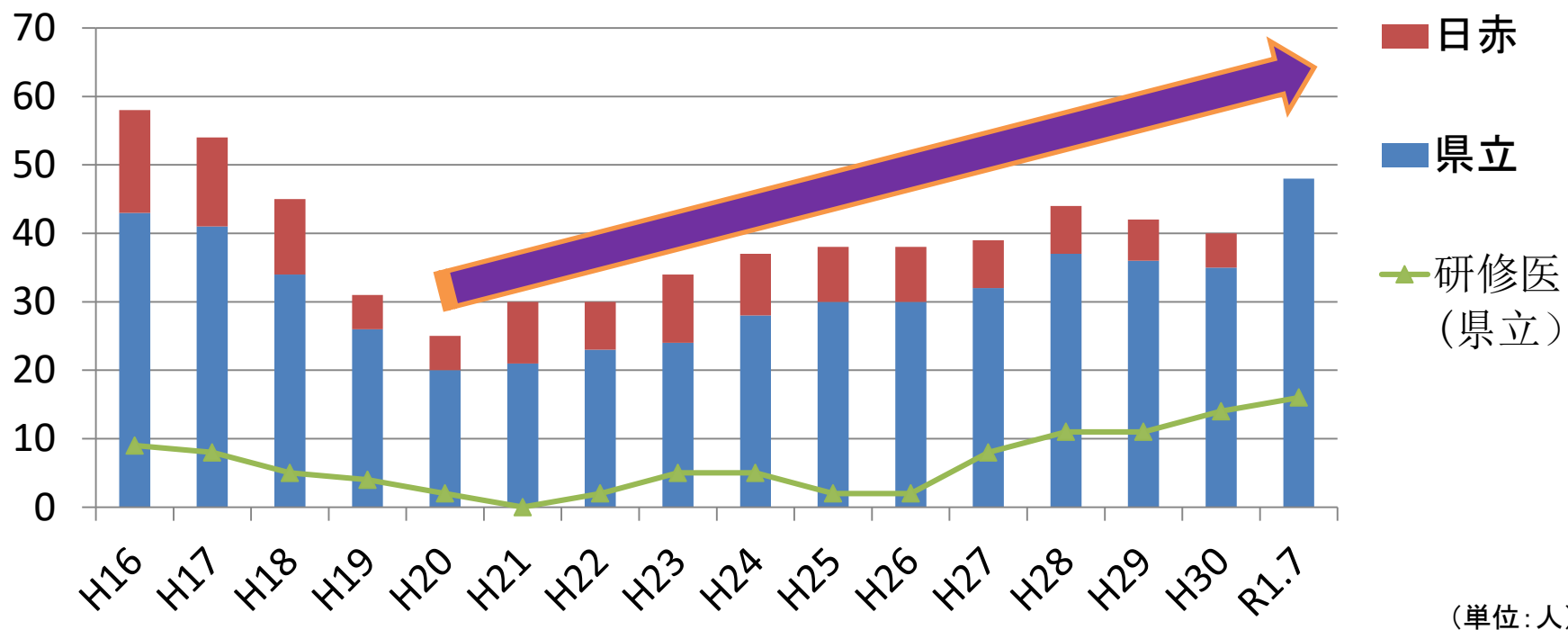


※県が指定管理者として、丹波医療センターと一体運営を行っている。

統合再編による診療機能等の充実

1. 急性期から回復期までの幅広い医療の提供
 - 県立と日赤の診療機能の維持・充実
2. 地域包括ケアシステム（保健・福祉連携）の中核
 - 丹波市健康センターミルネ（総合外来、健診、訪問診療等）と新病院のハイブリッド施設の形成
3. 二次、三次救急拠点
 - 循環器、消化器、脳、外傷などに対応
4. 地域医療にかかる人材育成拠点（教育拠点化）
 - 研修医教育（定員：8名/学年）
 - 県養成医のハブ機能
 - 総合診療医、総合内科医、臓器別専門医育成
 - 医学生/看護学生教育への積極的参画

統合再編による医師確保



	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1.7
日赤	15	13	11	5	5	9	7	10	9	8	8	7	7	6	5	-
県立	43	41	34	26	20	21	23	24	28	30	30	32	37	36	35	48
うち研修医 (県立)	9	8	5	4	2	0	2	5	5	2	2	8	11	11	14	16

統合再編による地域への効果

○新病院・健康センターを核としたさらなる地域包括ケアシステム構築

- ・医療機関、介護施設、薬局などの情報を多職種で共有できる医療介護情報連携システム「ちーたんネット」のサービス開始（元. 7～）
- ・医師会との連携強化（セミナー、情報交換会を新病院で開催）

○統合再編を契機に地域の医療へのさらなる関心の高まり

- ・「県立柏原病院の小児科を守る会」、「丹波医療再生ネットワーク」
 - ・「丹波医療支え隊」など市民主体の活動の活性化
- ⇒統合再編を機に「**地病地療**」の言葉も誕生

○丹波市の地方創生のシンボルに

- ・新病院周辺を医療福祉ゾーンとして、医療福祉関連機能が集積する市街地の形成を目指すなど、新病院等施設群のオープンをきっかけに一気呵成にまちづくりを推進

全国に発信できる
地域医療の新たなモデル
only one
を目指す